

# 広報かがわ

第80号

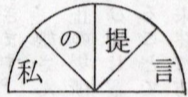
編集発行

香川自治会  
広報委員会  
印刷所

香川の人口  
9,073人  
男4,543人  
女4,530人  
香川の世帯数  
2,660  
(60.1.1現在)



初日の出(東海岸南3丁目海岸にて 1月1日午前6時55分撮す)



## 自治会活動への積極的参加を

吉川浩郎

「第二のふるさと」と定め、縁あって当地香川に厄介になつて、早いものでもう二十五年になろうとしています。今期、はからずも第二町内会長の重責を引受けることになりましたが、始めての事ですので、何をしようかたまたまどうばかりでした。

一年をふり返つて見ますと、最初の仕事は自治会と町内会の役員や防災役員の選出といった組織づくりと全員の簿の作成などで、組長さん方の協力で、無事終えることが出来ました。七月の浜降祭、夏の盆踊り大会、秋の体育大会や文化祭と昨年は、あつと言う間でした。楽しかったことは、わが第二町内会の体育祭での総合優勝で、選手役員一同の団結の結果だと自負しています。しかし、少し盛上りに欠けたかと思われる防災訓練は、今後の課題として残りました。その他、自治会長はじめ各環境委員の協力で、ゴミやガラクタ置場を二ヶ所、増設や移設することが出来ました。局部的ではあります、急を要する下水路の新設もすみました。しかし、過去十年来、各役員始め関係者の努力にもかかわらず、最大の難題である南下水路の整備が、まだ手つかずです。某議員の出馬への抱負にもあつたように、北部開発を最大公約に懸命の努力にもかかわらず、

## 下水排水対策について

岡本貞雄

第四町内会の重要課題として、下水排水対策があります。その具体的な地域として、香川字原一七四番地(新井重司さんの南角)から一八七番地(イサミ屋酒店)を経て、五八〇番地(ホープ理髪店)までの約一六〇メートルの区間のことです。現在、この区間は家庭用の雑排水と雨水の排水とに使用されていますが、この用地は個人の所有する土地であり、昭和十四年に稲作の農業用水対策として相模川左岸土地改良区が出来、その一環として当地の灌漑用水路として出来たものです。もとより農業用水路はこの場所だけでなく、香川地区に新設された用水路の総延長は、千数百メートルの長さには達しています。農業用水対策として出来た水路が、時代の変遷とはいえず、下水路と化した現在の姿を見るにつけ、これだけ良いのかと考へざるを得ません。極言すれば、稲作のために作られた水路ですから稲作がなくなり、生産組合がそれを認

(第二町内会長)

め、地権者が土地の返還を求めた場合は返却しなければなりません。そういう事態が来ないとは言えないのです。それぞれの地権者が土地の有効利用を考えた場合、現況に対して納得しなくなると察せられるからです。また、減反政策により稲作が年々減少している客観的情勢から、予想されることは、農業用水路としての使命はやがて終ると言うことです。地権者の理解と用水路利用者の現況認識が必要で、あえて申し上げるなら、この用水路は香川の生産組合が毎年草刈りをし、その管理に当たっています。その時、出るのは「ひどいものだなあ」という溜息と「これでいいのよ」と言う呟きです。多雨の度に、新井さんの南の道路は水があふれ、交通の障害になることは周知の通りです。これらの問題は関係住民で、一緒に考え行動しなければならぬ時期にきていると思えます。また、かつての田は埋め立てられ、畑にもあれよあれよといううちに、家が建ち、一日一日変化しています。土地の有効利用は地権者の基本的な権利であり、時勢に合った利用が計られるのは当然です。大切な事は、その変化から生ずる歪みの是正です。個人の力ではどうにもなりません。自治会の課題として、少しでも良い環境作りのために協力したいものです。以上の他にも排水対策を講じなければならぬ場所がありますが、香川と下寺尾の自治会でこれを取り上げ、関係機関に積極的に働きかけています。ご理解とご協力をおねがいいたします。(第四町内会長)

## 夢のある町づくりを

長谷川澄子

香川の人口も増加の一途を辿っていますが、その中で、自治会活動の占める役割は大きいと思えます。一番身近なものとして、ゴミの問題があります。この問題は全家庭に関係があるだけに、一人でも勝手な出し方をすれば、うまくいきません。今までの委員さんにももちろん、今年度の環境整備委員さんの時間をかけての奉仕作業には頭がさがります。ガラクタ収集日の前日より乾電池入れを用意したり、収集日当日も、親切に言葉をかけながら手伝ってください。目をそむけたくないので、ゴミの山も、すっきりきれいになります。年に何回か行われる町内清掃のたびに思うことは、こうして組長をはじめ地域の皆さんと一緒に草むしりや溝掃除をすることが、人々の楽しい結びつきを育むことにもなり、また「いざ」という時にも、お互いに協力しやすくなるということです。それは大変良いコミュニケーション(地域社会)の場としても意義があると思えます。すでに、この清掃日を大いに活用している組もあるそうです。その他、誰もが切望する排水問題や派出所設置の件などは、自治会の要望として強く行政に働きかけてほしいと思えます。昨年末、深夜に暴走族らしき者が騒音をたてて走り、睡眠をさまたげられたことや「覗き魔」が何回か出現したことなど耳にしましたが、「香川に派出所があつたら……」と痛感いたします。また、自治会館周辺の広大な用地が今後どのようになるかも気になります。住民の一人として私は思うのです。夢のある私達の香川にするために、おとなも子供も楽しめる広場と公園が出来たら以前のように白鷺が戻り、私達に潤いをもたらしてくれるのではないかと。特に附近は香川駅にも近く、ミニ開発は避け、他地区に誇れる「すばらしい環境に」と願わずにはいられません。(第三町内会)



# 香川から出るゴミは？

## 真剣に考えよう!!

私たちの生活の中でのゴミ処理の問題は、市の重要課題の一つですが、私たち香川自治会にとって大きな問題の一つです。日常生活で不要となったものを、全部ゴミとして出したり、可燃ゴミの中へ空かんやびんを混入して出したりしていることもあります。収集しないゴミ、例えばたたみやタイヤなどまで出している場合も見かけます。また一方、可燃ゴミ収集日に、古新聞や古雑誌など束ねて出しているのを見かけます。また、ポロきれ、びん、空かんをはじめ再利用できるものまで捨ててあるのをよく見かけます。次に昭和五十九年度の香川自治会のごみ月別収集量をお知らせします。

(環境美化センターの資料より)  
香川のごみの月別収集量は、可燃ゴミが、毎月平均じんかい車、約九十二台分。不燃・粗大ゴミが毎月平均じんかい車、約四十六台分です。トン数で言うと、可燃ゴミが一年で合計約一、五二八トン(じんかい車一、一一一台分)。不燃・粗大ゴミが一年で合計約四六五トン(じんかい車五五六台分)となります。両方で合計約一、九九三トン(じんかい車一、六六五台分)となります。では、その経費はどの位か。処理経費(収集・焼却・埋立)は、昭和58年度の決算数字によると、人件費も含めて、一トン当り約三、二〇〇円です。年間合計約六、三三七万円の経費がかかったこととなります。

このように、ゴミの減量化と再利用の問題は、自治会としても真剣にとりくまなければならぬ大きな問題と言えるでしょう。

### 香川自治会ごみ月別収集量

年 月	可燃ゴミ		不燃・粗大ゴミ	
	じんかい車台数	台	じんかい車台数	台
59/1	8	8	4	4
2	8	8	2	9
3	9	9	5	2
4	8	8	5	0
5	8	8	5	3
6	9	9	4	2
7	8	8	4	8
8	9	9	4	6
9	9	9	4	4
10	8	8	5	1
11	9	9	4	4
12	9	9	5	1
計	11	11	5	5

### 乾電池の分別収集に協力しよう!!

昨年六月の不燃ゴミ、粗大ゴミ収集日より、乾電池の分別収集が実施されています。乾電池には、水銀が含まれています。ご協力を願います。

収集対象：乾電池(単一・単二・単三・その他)

- ◎持ち出し方法「透明なビニール袋又は「かんでんち」と明記した袋に入れ、他の不燃ゴミ・粗大ゴミとは分けて出す。
- ◎ボタン形電池(補聴器、腕時計、カメラ等に使われている「ボタン形電池」は、それぞれ取り扱い店に置いてある回収箱に入れてください。



違法駐車

### 道路にとめると迷惑!!

路上駐車車の違反が目立っています。特に市営住宅周辺はひどく、違反駐車車の自家用車が、一日平均二五台以上あります。交通安全、交通道徳上好ましくありません。違法駐車をやめましょう!! 車は駐車場に置きましよう!!

### 交通安全のために

私たち交通指導員は、市長より委嘱されて地域の交通安全に努めています。毎月、一日と十五日の交通安全日、春秋の交通安全運動の期間は連日、朝の一時間、香川駅前交通安全指導員をお呼びします。そこで気の付いたことを次に書きます。第一は、自転車の高校生、娘さん、奥さんたちが、一時停止の場所で停止せず、交差点に飛び出し、危険なことがたびたびあることです。一秒の注意で事故を未然に防ぐことが出来ます。注意しましょう。第二は小学生についてですが、学校や家庭での交通安全教育が行届いていないようすが、おしゃべりなどして時々交通規則を忘れることがあります。そういう時が一番危険ですので注意してください。第三に自動車運転する皆さんですが、規則を守り

### かがわ文庫



### 図書紹介

冒険者たちーガンバと一五匹の仲間たちー 齊藤惇夫著  
町ネズミのガンバは、友達のマングクに誘われて、住み心地のよい住居を後に、何か?を求めて、港の集まりに行く。そこに傷だらけで助けを求めに来た島ネズミの忠太と出会う。忠太の話の聞き、イタチと戦うために出発するガンバ、マンブク、イカサマ、オイボレ等十五匹の仲間たち。助け合い、信じ合い、知恵を出し合いながら、強大な敵であるイタチに立ち向かって行く大冒険の物語。

読み始めたらずめられず、ぐいぐい引き込まれていきます。本を読む楽しさを知る最良の書と言えます。子供だけでなくおとなにもおすすめです。

### 俳句

蕨の敷居にたるる初閨魔  
火種持ち馳け走りる野焼かな  
雑木林に日の射してある春隣  
長島 久江

笹鳴や坂の途中に馬の神  
理科室に土のこぼるる春隣  
春障子母の居そうな民家園  
百合子

寒早コキと背骨の音したる  
寒木瓜の開ききれざる日昏れかな  
着ぶくれて母の小さき仏顔  
香沢 みや

菰内に小さき風の寒牡丹  
急行をさきに通して梅の駅  
春雪を積みし枕木父の郷  
藤村 球子

早咲きの梅の影あるなまこ壁  
追風に首の吹かるる義仲忌  
村田家と云ふ墓多し野水仙  
平塚 司郎

鱈を食ひ話目玉におよびけり  
鉄道に果てはありけり寒風  
針拾ふやうに抜きけり冬の草  
木々 木々 木々

### 会員募集

「茅花」俳句会は、毎月、例会を開いております。俳句を始めしてみようという方を募ります。左記へご連絡下さい。

香川三六七 裕 (電)七三九六



### マンリョウにたくさん赤い実が付きました。

庭に小鳥を呼びたくて、ナンテン、センリョウ、マンリョウなどを植えています。そして今、それらの木に赤い実がたくさん付いてとてもきれいです。

いつもの年ですと、ヒヨドリ、ツグミが来て、ついばんでいるはずなのに、今年はまだ来ません。木の中には枯れ始めたマンリョウも有ります。実を付けすぎているのに、鳥は食べてくれず、それが重荷になっていくからではないかと思うのですが、木がかわいそう取つてみました。八五cmの木で、六三一個の実を付けていました。庭には、実生からふやしたマンリョウが三〇本程あります。みんな重そうに実を付けています。鳥が食べないのなら取つてやらなければなりません。そこで、欲しい人には実をあげます。撒いておけば三年位で実をつけます。

一月十一日(4138組 三輪徳子)

### 自治会日誌

- 10月25日 広報委員会
- 11月6日 環境整備委員会
- 11月22日 自治会役員会
- 12月6日 自治会役員会
- 12月12日 自治会役員会
- 20日 広報委員会
- 21日 自治会役員会
- 24日 自治会役員会
- 30日 自治会役員会

### おねがい

各サークルの活動状況をお知らせください。原稿用紙一枚ぐらいでおねがいます。自治会館の投稿箱か広報委員まで。

(広報委員会)